

「鬼押し出しの鍾乳石(1)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所 研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

「鬼押し出し(おにおしだし)」は、浅間北麓観光の目玉の一つである。浅間山が起こした 1783 年の噴火(天明大噴火)の際、流出した「特殊な溶岩」が固まってできた幅 2km、長さ 5km の火山地形の一つだ。鬼が押し出したように見えるのでこの名がある。



園内は広大で、歩きやすい遊歩道が整備されている。しかし、基本的に見るべきものは「岩」だけだ。

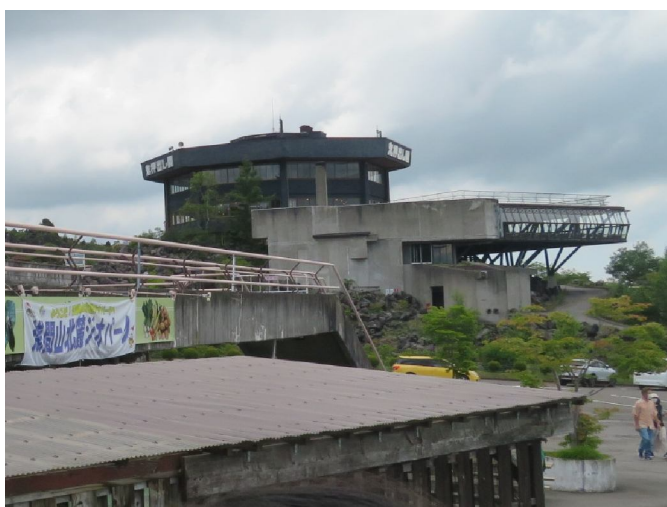
鬼押し出し園入園料金表		
営業時間 8:00~16:30 (17:00 営業終了)		
個人	おとな	650
個人	子ども(小学生)	450
団体 15~50名		550
団体 51名以上		450
		350

身体障害者手帳・療育手帳
精神障害者保健福祉手帳
提示・付添1名適用

「鬼押し出し園」は入場料が必要だ。単に岩を見学するだけで入場料をとるのは、日本でもここだけだろう。しかし、園内にはいわゆる「奇観」が広がり、遊歩道や解説が整備されているので、650 円を支払う価値はあると思う。



どこを見ても溶岩しかない園内なので、入園者は歩いていてもすぐに飽きてしまう。そこで、溶岩の形状を人や動物に見立てて、さまざまな名称がついている。これを探しながら歩くのは、なかなか楽しい。



かつては、外国人を含めて多くの観光客が訪れた施設だが、今は閑散としている。この日は土曜日だったが、駐車場も空いていて、入場券売り場で並ぶこともなかった。内部の建物も老朽化が進んでいる。



遊歩道の脇にある、元祖「狛犬岩」は、誰でもすぐに見つかる。噴火から 240 年も経っているのに、風化を免れて形状を保っているところが素晴らしい。